

宮 発 第2932号

平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

宮代町長 榊 原 一 雄



今後の道路行政についての意見・提案について (回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった件については、別添のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県宮代町

1 道路用地の有効利用

人口減少・高齢化に伴い、道路の機能も住民ニーズの変化により活力あるまちづくりや安全で安心して暮らしていけるための防災機能等多岐にわたり期待されているところです。

また、地球温暖化や天然資源の枯渇等が世界的問題となっていることから、人と自然に優しい道路づくりが注目され、今後の道路整備にあたっては、地域の環境や生活特性を生かした整備が望まれます。

このようなことから、道路用地が確保されているが整備まで至っていない用地については地域住民に開放することにより住民参加で道路周辺環境の向上が図れるような施策の検討を望みます。

また、当町では震災に備え、地域防災計画のアクションプランを現在作成中であります。震災時の仮設住宅の設置場所として、圏央道の高架下のスペースは、県が指定した緊急輸送路に接しており、救援物資の輸送も容易に行えることから、災害時の使用の許可を望むところです。

2 財源の優遇措置

国道が接することで、その沿道周辺は立地条件が良好となり有効な土地利用の幅が広がり経済効果が向上します。しかし、当町のように国道が接していない市町村ではその効果は期待できません。結果、厳しい財政状況を補うためには、歳出をできる限り制限する施策を講じることとなり公共事業への着手の先送りを行わざるを得ません。

国土の健全な発展のためにも当町のように国道に接していない市町村に対して、道路事業実施の際には特段の優遇措置を講じていただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

埼玉県宮代町

○現状

平成元年に都市計画道路の計画決定を受け、現在１８路線の都市計画道路の計画を持っていますが、財政状況も厳しいことから１路線を供用開始したもの、その後の整備が進まない状況となっています。

○課題

都市計画道路については、都市計画決定後、長期未整備となっている路線について、計画の必要性、事業の実現性を再検討したうえで計画的に整備していく必要があります。

②－２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県宮代町

当町は南北に細長い町であり平行して東武鉄道伊勢崎線が縦断し３駅周辺に市街化区域が存在しています。近隣市町にはホームセンターや大型店舗があることから購買需要は町外に流れ、町内の商店会は衰退をしている状況です。また、農業においても高齢化が進んでいます。

商店や農家従事者が減少する中、定住人口を増加させるため平成１１年に土地区画整理事業の計画決定を受け、平成２７年の事業完了に向け事業を推進しています。

土地区画整理事業により定住人口を増加させ、住み良いまちづくりと活力あるまちづくりを形成することにより、宮代町の健全な発展を図るため、近隣道路とのネットワーク網を構成するため都市計画道路整備を推進していきます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県宮代町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・少子高齢化 社会に対応 した子育て 環境、バリア フリーの社 会形成	自転車専用道路の整備	歩車道分離や自転車専用道路を設 置することで幼児や高齢者等交通弱 者に対する交通事故の抑止が期待で きます。	